

第4回 揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 議事要旨（案）

日 時：平成23年8月10日（水）13:30～15:30

場 所：揖斐川町役場 研修室

1. 開会

2. 挨拶（揖斐川町長）

3. 報告およびその審議結果等

(1) 平成22年度の活動報告について

- ① 生命（いのち）の水と森の活動センターの活動実績として、①水源地の自然環境保全事業、②自然環境保全教育・研修事業、③水源地を活用した調査・研究協力事業、④治水・利水及び水源地の環境保全の重要性普及啓発事業、⑤自然を活用した水源地域の活性化事業、⑥情報収集・発信事業を柱とする計28活動が実施されたこと、これらによりH22年度の「水と森の学習館」利用者が13,140名に達したことについて事務局（生命の水と森の活動センター）から報告があった。
- ② 徳山湖の流木塵芥除去と水質監視、実のなる木を植えよう大作戦などの活動が実施されたことについて、事務局（水資源機構徳山ダム管理所）から報告があった。
- ③ 「木曾三川水源林保全体験」の活動として、平成22年8月24日に揖斐川町（社）木曾三川水源公社の分収造林地にて名古屋市上水道給水区域の小学生とその保護者計32名による間伐作業体験が実施されたことについて、主催者である名古屋市上下水道局から報告があった。
- ④ 地域商工業者の販路開拓を目的とした西美濃地域ブランド体感ツアーの実施などを通じたPRを行ったことを、大垣商工会議所交流産業委員会から報告があった。

(2) 平成23年度の活動予定について

- ① 生命の水と森の活動センターの事業計画の説明が事務局（生命の水と森の活動センター）から報告された。
- ② 徳山ダムのビジョン取組予定についての説明が事務局（水資源機構徳山ダム管理所）から報告された。
- ③ 「横山ダム2011 森と湖に親しむ旬間」の活動として、平成23年7月21日～31日にダム見学者等計137名の参加を得て、横山ダム堤体内部等を利用した活動、流木アート、ハンドベル体験などが実施されたことについて、横山ダムから報告があった。
- ④ 水源及び水源地域の魅力を広く紹介し、上下流地域の相互理解を深めることを目的とし、季節毎の周遊モデルルートを作成し、ホームページで公開する予定であることについて、愛知県より報告があった。
- ⑤ 平成23年6月22日に池田町立八幡小学校の4年生70名と一級河川杭瀬川で生物採取調査を行い、身近な環境を子供たちに体感してもらったことについて、岐阜県揖斐土木事務所より報告があった。
- ⑥ 観光客誘致キャンペーンの実施、高速道路サービスエリアへの観光ガイドマップの設置を行うことについて、西美濃広域観光推進協議会より報告があった。
- ⑦ 揖斐川水源地域の自然環境の保護、徳山水力発電所工事に伴う土捨場の緑化、ダムや水力発電の役割や機能の紹介、揖斐川筋の漁協・小中学校・教育委員会に対して水難事故防止のPR活動を実施したこと等を中部電力から報告があった。

(3) 意見交換

- 現在、徳山ダムへのバスでの見学を行っており、大変好評である。今後、西美濃地域とも連携したルート選定も必要ではないか。
- 来年の岐阜国体で揖斐川上流がカヌーの会場となっている。上流のみならず、中流域の方々の協力も必要であるため協力をお願いしたい。また、11月には揖斐川マラソンが開催される。これによって揖斐川町及び木曾三川というものを発信していきたい。

(4) 中部電力徳山水力発電所の紹介

4. 閉会

以上

**平成23年度
ビジョンの取組状況報告**

**独立行政法人水資源機構
徳山ダム管理所**

徳山ダム 平成23年度 ビジョンの取組状況

施策1 日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全

施策項目

水環境の保全

- ・ダム湖の水質監視 資料①
- ・ダム湖の流木対策 資料②
- ・正常流量の確保 資料③

ダム機能保全のための森林の保全整備

- ・実のなる木を植えよう大作戦 資料④

施策2 日本一の水と緑に感謝し、学び、やすらぎ場としての活用

施策項目

研修の場の提供

- ・揖斐川水源地域の自然環境保全研修会 資料⑤

学習の場の提供

- ・森と湖に親しむ旬間・水の週間イベントの実施・・・資料⑥

施策3 広域で継続的な交流・連携の推進

施策項目 — 活動を通じた上下流交流

- ・実のなる木を植えよう大作戦 資料④

徳山ダム 平成23年度 ビジョンの取組状況

施策4 水源地域の魅力を活用した産業の振興

施策項目 — 観光振興

- ・ 徳山ダム見学ツアー（名阪近鉄バス）……………資料⑦
- ・ 洪水吐きからの放流……………資料⑧

施策5 みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進

施策項目 — 啓発活動の推進

- ・ 森と湖に親しむ旬間・水の週間イベントの実施…資料⑥
- ・ 徳山ダム見学ツアー（名阪近鉄バス）……………資料⑦

人材育成

- ・ 水源地防人セミナー……………資料⑨

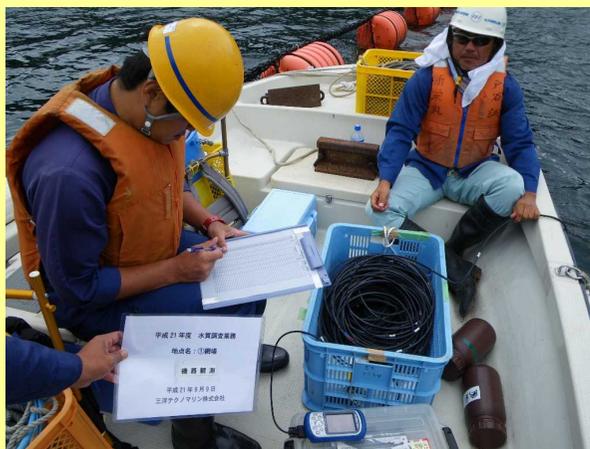
ダム湖の水質監視

施策 1：日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全

施策項目：水環境の保全

具体的施策：ダム湖の水環境の保全に取り組む

調査状況



調査頻度（定期水質調査）

回数	調査日
第1回	平成23年 4月27日
第2回	平成23年 5月25日
第3回	平成23年 6月22日
第4回	平成23年 7月23日
第5回	平成23年 8月17日
第6回	平成23年 9月26日
第7回	平成23年 10月19日
第8回	平成23年 11月16日
第9回	平成23年 12月21日
第10回	平成24年 1月18日
第11回	平成24年 2月 9日
第12回	平成24年 3月 6日

調査結果（速報値）は、徳山ダムホームページ『現在のダム状況（水質情報）』に掲載

ダム湖の流木対策

施策 1：日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全

施策項目：水環境の保全

具体的施策：ダム湖の水環境の保全に取り組む

貯水池内の流木塵芥収集状況



選択取水設備
塵芥の集積状況



重機による
塵芥の積込み状況



塵芥の集積状況

平成23年度は、約30m³の塵芥処理を実施

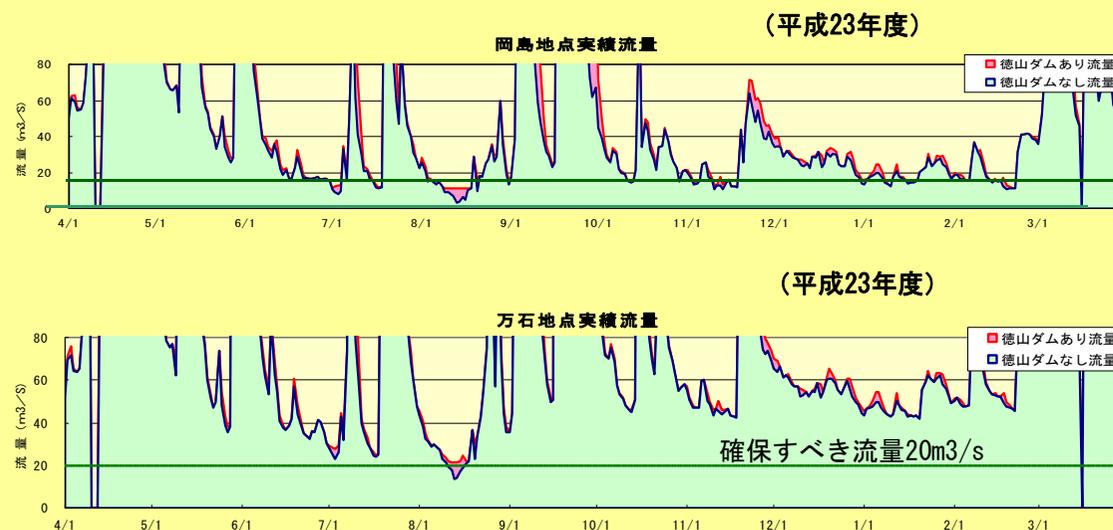
正常流量の確保

(大垣市万石地点で $20\text{m}^3/\text{s}$ 、揖斐川町岡島地点で $10\text{m}^3/\text{s}$ を確保します。)

施策 1: 日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全

施策項目: 水環境の保全

具体的施策: 下流河川における瀬切れ区間の解消を行う



大垣市万石地点で $20\text{m}^3/\text{s}$ 、揖斐川町岡島地点で $10\text{m}^3/\text{s}$ を確保するとともに、かんがい用水の取水を可能とするため、河川流量の少ない時は、徳山ダムからの補給を実施しました。

瀬切れの解消

徳山ダムからの補給によりダム下流の平野床橋付近では、断続的に繰り返されていた瀬切れが解消されています。

平野庄橋下流の状況



実のなる木を植えよう大作戦

施策 1 : 日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全

施策 3 : 広域で継続的な交流・連携の推進

施策項目 : ダム機能保全のための森林の保全整備

: 活動を通じた上下流交流

具体的施策 : 広葉樹の植樹に取り組む。地域交流を推進する。



植樹活動状況

小学生・中学生による植樹活動

作業に参加されたみなさん

揖斐川水源の自然環境保全研修会

施策 2：日本一の水と緑に感謝し、学び、やすらぎ場としての活用

施策項目：研修の場の提供

具体的施策：研修等による交流の拡大の為の研修カリキュラムの充実を図る。



実施内容：揖斐川水源地域ビジョンでは、中部の水瓶である、徳山ダムを核とする広大で豊かな揖斐川水源地域の自然環境を「みんなで守り、育てること」が必要であるとされています。そこで、その取り組みの一環として、水源地域の森林保全など生物多様性の観点からみた水源地域の自然環境保全に係る研修会を開催し、関係者の知識の向上と水源地域の自然環境保全の必要性の理解を深めるものとする。

研修項目：

- ・川と生きる 揖斐川ものがたり
(大同大学 名誉教授 久保田 稔 氏)
- ・徳山ダム上流の昆虫について
(一般財団法人 自然学総合研究所 理事 野平 照雄 氏)

主催：揖斐川町、(財)いびがわ 生命の水と森の活動センター
共催：独立行政法人水資源機構 徳山ダム管理所・木曾川水系連絡導水路建設所

協力機関：国土交通省 木曾川上流河川事務所、岐阜県西濃振興局 揖斐事務所、中部電力株式会社 徳山水力建設所

実施日：平成24年2月29日

開催場所：揖斐川町中央公民館

森と湖に親しむ旬間・水の週間イベント実施

施策 2 : 日本一の水と森に感謝し、学び、やすらぐ場として活用

施策 5 : みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進

施策項目 : 学習の場の提供、啓発活動の推進

具体的施策 : 豊かな自然環境と地域資源の活用により、効果的な学びの環境づくりを図る。

水源地域の価値や役割の周知、ダムの必要性・重要性を理解して頂くための啓発活動を行う。

徳山ダム堤体内（ゲート室・監査廊）の案内、ダム湖上観察会及び水質調査



堤体内案内(ゲート室)



湖上観察会



簡易水質検査体験(pH, COD)

実施日 : 平成23年7月27日, 7月29日, 8月1日, 8月3日 (湖上観察会, 堤体内案内)

参加人数 : 約1,000人 (4日間合計)

徳山ダム見学ツアー（名阪近鉄バス）

施策 4：水源地域の魅力を活用した産業の振興

施策 5：みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進

施策項目：観光振興、啓発活動の推進

具体的施策：観光業界との連携のもと、ツアーコースを設定し、観光の振興を図る。

水源地域の価値や役割の周知、ダムの必要性・重要性を理解して頂くための啓発活動を行う。

職員による選択取水塔、徳山ダム堤体内（ゲート室）の案内



実施期間：7月22日～9月30日

参加人数：延べ670人（全29便）

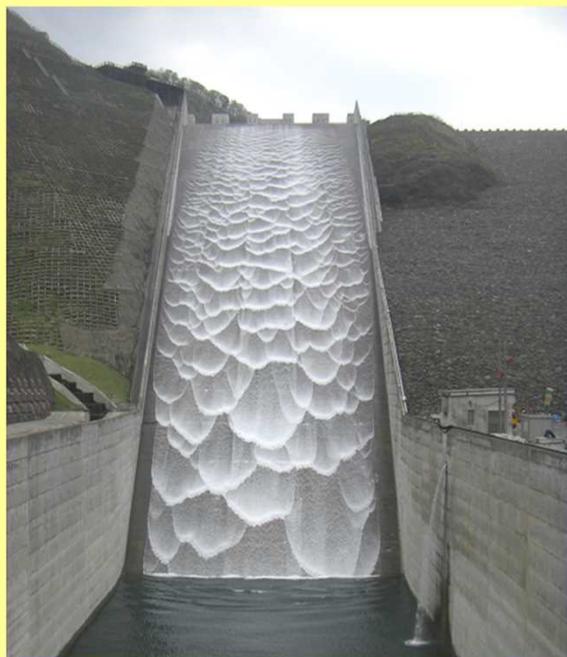
洪水吐きからの放流

施策4：水源地域の魅力を活用した産業の振興

施策項目：観光振興

具体的施策：地域観光資源の一つとして、ダム洪水吐きからの放流を実施する。

常用洪水吐き2門からの放流を実施



◆揖斐川町による「いび特産品販売所」を徳山ダム右岸広場に設け、休日・祝日等に開店している。



実施日：ゴールデンウィーク 平成23年4月29日～5月3日の5日間（合計約2,800人）

水源地防人セミナー

資料⑨

(平成23年11月19～20日)

施策 5：みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進

施策項目：人材育成

具体的施策：保全や利活用において、様々な取組みを進めるために、新たな人材の発掘や育成を実施する。

★11月19日（土）湖上からダム湖周辺の環境視察

その後、宿泊場所にて水源地の保全に向けた源流交流として、意見交換会を行った



湖上からの環境視察



湿性地（視察予定）



意見交換会

★11月20日（日） 駒田格知（のりとも）先生（名古屋女子大特任教授）を迎え、「徳山ダムにおける魚類の環境保全について」と題して講演をいただきました。

講演会には、一般参加者・スタッフ合わせて約80名の参加があり、徳山ダムにおける魚類の環境保全についての知識の習得、並びに理解を深めました。



講演会

主催：独立行政法人水資源機構、揖斐川町、(財)いびがわ 生命の水と森の活動センター
後援：水源地の水の一滴塾（菅原文太塾頭）

**平成24年度
ビジョンの取組予定**

**独立行政法人水資源機構
徳山ダム管理所**

徳山ダム 平成24年度 ビジョンの取組予定

施策1 日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全

- 施策項目
- 水環境の保全
 - ・ダム湖の水質監視……………資料Ⅰ
 - ダム機能保全のための森林の保全整備
 - ・実のなる木を植えよう大作戦……………資料Ⅱ

施策2 日本一の水と緑に感謝し、学び、やすらぐ場としての活用

- 施策項目 — 学習の場の提供
- ・森と湖に親しむ旬間・水の週間イベントの実施……………資料Ⅲ

施策3 広域で継続的な交流・連携の推進

- 施策項目 — 活動を通じた上下流交流
- ・苗木のホームステイ・実のなる木を植えよう大作戦……………資料Ⅱ

徳山ダム 平成24年度 ビジョンの取組予定

施策4 水源地域の魅力を活用した産業の振興

施策項目 — 観光振興

- ・ 徳山ダム見学ツアー（名阪近鉄バス）……………資料Ⅳ
- ・ 洪水吐きからの放流……………資料Ⅴ

施策5 みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進

施策項目 — 啓発活動の推進

- ・ 森と湖に親しむ旬間・水の週間イベントの実施…資料Ⅲ
- ・ 徳山ダム見学ツアー（名阪近鉄バス）……………資料Ⅳ

ダム湖の水質監視

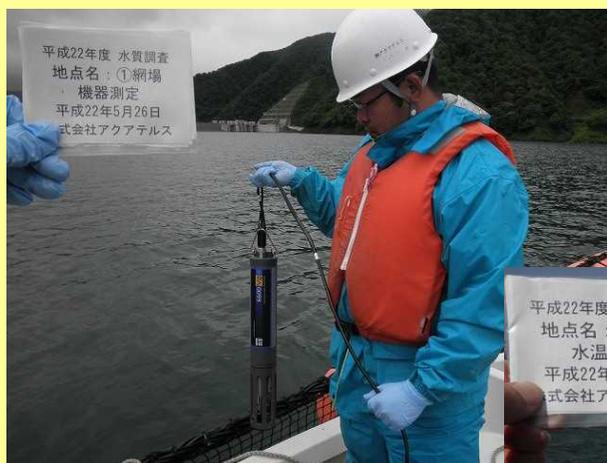
資料 I

施策：日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全

施策項目：水環境の保全

具体的施策：ダム湖の水環境の保全に取り組む

調査状況（貯水池基準点：網場）



調査頻度（定期水質調査）

回数	調査日
第1回	平成24年 4月24日
第2回	平成24年 5月15日
第3回	平成24年 6月22日
第4回	平成24年 7月18日
第5回	月一回水質調査実施予定
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

調査結果（速報値）は、徳山ダムホームページ『現在のダム状況（水質情報）』に掲載。

苗木のホームステイ・実のなる木を植えよう大作戦

施策：日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全
：広域で継続的な交流・連携の推進

施策項目：ダム機能保全のための森林の保全整備
：活動を通じた上下流交流

具体的施策：広葉樹の植樹に取り組む。地域交流を推進する。



活動内容：揖斐川水源地域全体にトチノキ、ナラ、クリ、ブナなどの野生動物の餌となる「実のなる木」を植樹し、その下草刈りや保育作業を通して山の仕事を体験するとともに、生物多様性豊かな森林づくりに努める。

平成24年度も昨年度同様、下流地域にお住まいの方々や下流の小中学生・NPO等とともに活動を行う予定。

実施日：下草刈り、獣害防止カバー設置 平成24年7月8日

苗木のホームステイ(北和中・久瀬小・北方小)

平成24年10月予定

実のなる木を植えよう大作戦

平成24年11月4日予定



主催：NPO揖斐自然環境レンジャー、揖斐川中部漁協協同組合
財団法人 いびがわ 生命の水と森の活動センター

協力機関：岐阜県、揖斐川町、(独)水資源機構

森と湖に親しむ旬間・水の週間イベント実施

施策：日本一の水と森に感謝し、学び、やすらぐ場として活用
みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進

施策項目：学習の場の提供、啓発活動の推進

具体的施策：豊かな自然環境と地域資源の活用により、効果的な学びの環境づくりを図る。

水源地域の価値や役割の周知、ダム必要性・重要性を理解して頂くための啓発活動を行う。

徳山ダム堤体内（ゲート室・監査廊）の案内（横山ダムと連携した見学ツアー）



受付状況



堤体内案内(ゲート室)



監査廊案内

実施日：平成24年7月28日（森と湖に親しむ旬間）、8月1日（水の週間）
参加人数：約200人（2日間合計）

徳山ダム見学ツアー（名阪近鉄バス）

資料Ⅳ

**施策：水源地域の魅力を活用した産業の振興
みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進**

施策項目：観光振興、啓発活動の推進

**具体的施策：観光業界との連携のもと、ツアーコースを設定し、観光の振興を図る。
水源地域の価値や役割の周知、ダムの必要性・重要性を理解して頂くための啓発活動を行う。**

徳山ダム堤体内（ゲート室・監査廊）の案内（7月18日～9月28日）



徳山ダム号



ダム号車内での説明



徳山ダム堤体内（ゲート室）

洪水吐きからの放流

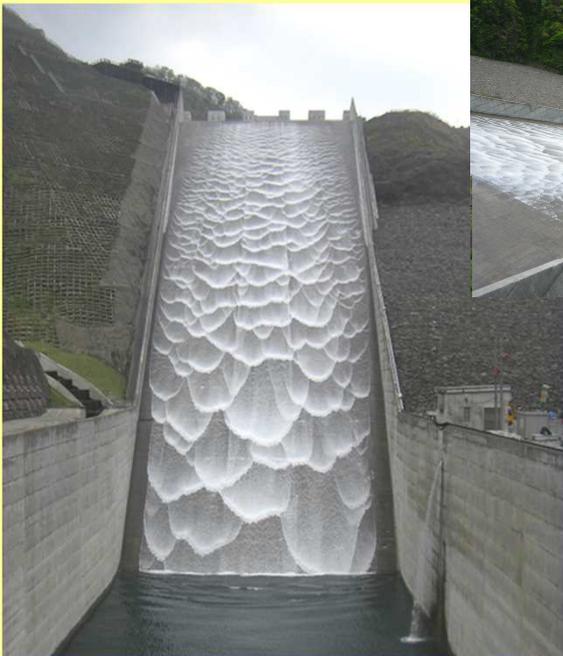
資料V

施策：水源地域の魅力を活用した産業の振興

施策項目：観光振興

具体的施策：地域観光資源の一つとして、ダム洪水吐きからの放流を実施する。

常用洪水吐き2門からの放流を実施



湖上観察会

実施日：ゴールデンウィーク 平成24年5月1日～5月5日の5日間（合計約2,800人）

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の今後の活動計画について

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

<p>施策</p>	<p>木曾三川水源林保全体験</p>
<p>施策項目</p>	<p>(2) 日本一の水と森に学び、やすらぐ場としての活用</p>
<p>具体の施策</p>	<p>⑤学習の場の提供</p>
<p>団体名等</p>	<p>名古屋市上下水道局</p>
<p>実施時期</p>	<p>平成23年8月25日</p>
<p>内 容</p>	<p>■目的 名古屋市上下水道局の給水区域内の小学生(4~6年生)を対象に、名古屋市の水源施設である徳山ダム周辺の山林(水源林)での間伐作業体験等や、徳山ダムの見学を通して、水源林の大切さや森林整備の重要性を学ぶ機会を提供します。</p> <p>■行程 9:00名古屋市役所発 11:15~13:50木工クラフト体験(雨天のため) 14:00~15:00徳山ダム見学 17:30名古屋市役所着</p> <p>■参加人数 16組32名</p> <p>■24年度 8月23日(木)に実施しました。</p> <p>※実施におきましては、生命と水と森の活動センター、揖斐郡森林組合、(社)木曾三川水源造成公社、(独)水資源機構徳山ダム管理所にご協力いただいています。</p>
<p>写 真</p>	

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の今後の活動計画について

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(2) 日本一の水と森に学び、やすらぐ場としての活用
施策項目	⑤学習の場の提供
具体の施策	一級河川飛鳥川にて生物調査を実施し身近な環境を子供たちに体感してもらう
団体名等	岐阜県揖斐土木事務所河川砂防課
実施時期	平成24年7月24日
内 容	<p>例年、管内の一級河川において生物調査を実施していますが、今年はい揖斐川町谷汲神原および横蔵地内に住む小学1年生～中学2年生までの11名の児童と一級河川飛鳥川に入り、タモを使って生物を採捕しました。採捕した生物は児童が本や下敷きを見ながらどのような種が採捕できたかを調査しました。</p>
写 真	<p>生物採捕状況</p>  <p>種別調査状況</p> 

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 規約

(名称)

第1条 本会は、「揖斐川水源地域ビジョン推進協議会」（以下「協議会」という）と称する。

(目的)

第2条 協議会は、揖斐川水源地域ビジョンに基づき、徳山ダム上流域を核とする揖斐川水源地域を流域全体の貴重な財産と位置づけ、水源地域だけではなく、治水・利水の恩恵が及ぶ広域の人達が参画し、揖斐川水源地域の豊かな自然環境を保全するとともに、適切なダム管理との整合を図りながら、広大な自然環境、地域の伝統文化、多様な観光資源等の積極的な利活用を図るため、流域住民、NPO 法人や企業等の各種団体、関係行政機関、水源地域自治体、ダム事業者等が一体となって、個々の役割を果たすとともに、相互の連携・協力の下、ビジョンの着実な推進を図り、もって水源地域の自立的、持続的な活性化に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 協議会は、以下の項目について実施するものとする。

- (1) ビジョンに位置付けた施策の実施状況の確認
- (2) 着実かつ効率的なビジョン推進のための協議・調整
- (3) 生命の水と森の活動センターの事業内容に関する確認や助言・指導及び活動協力
- (4) その他目的を達成するために必要な事項

(組織等)

第4条 協議会は、別表に掲げる委員をもって構成する。但し、協議会の中で了解を得たうえで、運営上必要な委員の増減を図ることができる。

- 2 組織の改編等により委員の組織及び職名等が変更となった場合は、組織及び職名等を新たな組織及び職名等に読み替え、その職に就いた者が、協議会の委員を継承する。

(協議会の招集及び成立)

第5条 協議会は、事務局がこれを招集し、揖斐川町長が議長を務める。

2 協議会は、委員の過半数の出席を持って成立する。

3 委員がやむを得ない事由により会議に出席できないときは、代理人を出席させることができる。

(協議会の開催)

第6条 協議会は、原則として年1回開催する。その他、必要に応じて適宜開催することができる。

(公開)

第7条 協議会は、原則として公開とする。

2 ただし、議長が必要と認めた場合には非公開とすることができる。

(事務局)

第8条 協議会の事務局は、揖斐川町に置くこととし、事務局の運営に関し必要な事項については、独立行政法人 水資源機構 徳山ダム管理所が協力して実施するものとする。

(雑則)

第9条 本規約に定めのない事項については、協議会において別途定める。

付則

この規約は、平成20年2月13日から施行する。

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員一覧

分類	区分	所属・役職
各種団体	関連地元事業者	揖斐郡森林組合 組合長
		財団法人いびがわ 理事長
	関連団体	NPO揖斐自然環境レンジャー 理事長
		西美濃広域観光推進協議会 事務局長
		大垣商工会議所 交流産業委員長
		揖斐川町商工会 事務局長
	関連企業	中部電力(株) 岐阜電力センター所長
		イビデン(株) エネルギー統括部 部長
関係行政機関	国土交通省	中部地方整備局 河川部 河川保全管理官
		中部地方整備局 木曾川上流河川事務所長
		中部地方整備局 木曾川上流河川事務所 横山ダム管理支所長
	林野庁	中部森林管理局 岐阜森林管理署 次長
	関係地方公共団体	岐阜県県土整備部 河川課長
		西濃振興局 揖斐事務所長
		揖斐土木事務所長
		揖斐農林事務所長
		愛知県地域振興部 土地水資源課長
		三重県政策部 土地・資源室長
		名古屋市上下水道局技術本部 水道計画課 主幹
	流域市町代表	大垣市 技監
	水源地域自治体	揖斐川町長
ダム事業者	水資源機構 中部支社 管理部 施設課長	
	水資源機構 徳山ダム管理所長	